



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 マナック株式会社

上場取引所 東

コード番号 4364 URL <http://www.manac-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉之原 祥二

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 杉之原 誠

TEL 084-954-3330

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,832	△7.0	121	△56.3	185	△44.2	17	△91.9
23年3月期第3四半期	7,348	20.1	279	—	332	—	211	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △39百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 96百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	2.14	—
23年3月期第3四半期	26.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	12,222	—	8,366	—	—	68.4
23年3月期	12,553	—	8,486	—	—	67.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 8,366百万円 23年3月期 8,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.50	—	7.50	10.00
24年3月期	—	2.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	4.7	380	41.4	450	21.8	230	3.6	28.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更を行っております。詳細は、添付資料P. 2「サマリー情報(その他)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	8,625,000 株	23年3月期	8,625,000 株
24年3月期3Q	590,397 株	23年3月期	590,244 株
24年3月期3Q	8,034,686 株	23年3月期3Q	8,035,119 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、東日本大震災により甚大な被害を受けたサプライチェーンの建て直しにより生産活動が回復する一方、歴史的な高水準が継続する円高により、製造業の国内空洞化が懸念される深刻な事態を招いております。また、欧州債務問題の不安は解消されず、新興国の経済成長にも景気の減速感がある中、先行き不透明感が増大し極めて厳しい経済環境にあります。

このような情勢のもとで当社グループは「グローバル・マナック」をめざして、医薬品関連製品、電子材料、難燃剤など、それぞれ国際市場への新たなマーケットの開拓及び製品開発、原価低減や生産性の向上、業務の効率化に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高は6,832百万円(前年同四半期比△515百万円、7.0%減)、営業利益は121百万円(同△157百万円、56.3%減)、経常利益は185百万円(同△147百万円、44.2%減)、四半期純利益は、その他有価証券の減損処理による評価損などの特別損失計上があり、17百万円(同△194百万円、91.9%減)となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

①ファインケミカル事業

ファインケミカル事業につきましては、医薬品関連製品は、大きく経済環境に左右されることなく堅調に推移しましたが、電子材料や機能性材料、中でもフラットパネルディスプレイ(FPD)関連は、景気の減速による在庫調整と海外勢の台頭の影響が大きく低迷を余儀なくされました。

その結果、売上高は3,542百万円(前年同四半期比△540百万円、13.2%減)、セグメント利益は313百万円(同△172百万円、35.5%減)となりました。

②難燃剤事業

難燃剤事業につきましては、情報端末などIT関連製品の高機能プラスチックに使用される難燃剤及び建築材料関連のプラスチックに使用される難燃剤はほぼ堅調に推移いたしました。一般家電製品に使用される汎用プラスチック用難燃剤は、当第3四半期半ばから需要が減少いたしました。

その結果、売上高は2,400百万円(同+25百万円、1.0%増)、セグメント利益は269百万円(同△15百万円、5.3%減)となりました。

③ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業につきましては、主要製品が人工透析薬剤の原料として使用されますが、その需要は国内販売がほとんどを占めております。当第3四半期においては主要顧客において稼働・在庫の調整が行われたため一部販売に影響がでました。

その結果、売上高は889百万円(同△1百万円、0.1%減)、セグメント利益は103百万円(同△14百万円、12.3%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて330百万円減少し、12,222百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金や有価証券が減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて210百万円減少し、3,856百万円となりました。これは主に、買掛金は増加したものの、短期借入金や未払法人税等が減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて119百万円減少し、8,366百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更いたしました。

この変更は、グループ全体の減価償却方法の見直しの検討を行ってきた結果、定額法が固定資産の使用実態により即しており、経営管理の精度を高め、当社の実態をより適切に反映すると判断されることから行ったものであります。

この結果、従来の方によった場合と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は53,628千円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ54,267千円多く計上されております。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(退職給付引当金)

当社は、平成23年7月1日より、現行の適格退職年金制度を廃止し、確定拠出年金制度へ移行しております。この移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号）を適用しております。

本移行に伴う影響額は、特別損失として50,396千円計上されております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	996,613	1,043,454
受取手形及び売掛金	3,053,015	2,880,195
有価証券	734,722	189,196
金銭の信託	1,450,000	1,450,000
商品及び製品	1,001,645	1,112,064
仕掛品	347,908	443,799
原材料及び貯蔵品	472,641	498,592
繰延税金資産	129,962	138,777
その他	112,652	86,914
貸倒引当金	△2,683	△2,511
流動資産合計	8,296,478	7,840,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,117,750	1,103,234
機械装置及び運搬具（純額）	555,234	508,317
土地	1,146,675	1,146,675
建設仮勘定	26,824	136,705
その他（純額）	113,599	153,209
有形固定資産合計	2,960,083	3,048,142
無形固定資産	4,755	3,804
投資その他の資産		
投資有価証券	873,213	927,301
関係会社長期貸付金	110,500	110,100
繰延税金資産	99,551	86,419
その他	209,058	206,883
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	1,291,723	1,330,104
固定資産合計	4,256,562	4,382,051
資産合計	12,553,040	12,222,535

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,199,184	1,435,850
短期借入金	1,303,264	968,077
未払法人税等	157,053	6,474
賞与引当金	125,042	72,761
その他	516,518	613,905
流動負債合計	3,301,063	3,097,068
固定負債		
長期借入金	291,013	352,328
退職給付引当金	246,954	—
役員退職慰労引当金	54,729	54,729
負ののれん	121,626	91,219
その他	51,579	260,870
固定負債合計	765,902	759,147
負債合計	4,066,966	3,856,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,757,500	1,757,500
資本剰余金	1,947,850	1,947,850
利益剰余金	5,114,901	5,051,716
自己株式	△243,513	△243,575
株主資本合計	8,576,738	8,513,491
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27,135	△68,591
為替換算調整勘定	△63,527	△78,579
その他の包括利益累計額合計	△90,663	△147,170
純資産合計	8,486,074	8,366,320
負債純資産合計	12,553,040	12,222,535

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	7,348,176	6,832,296
売上原価	5,852,570	5,523,922
売上総利益	1,495,606	1,308,374
販売費及び一般管理費	1,216,128	1,186,393
営業利益	279,478	121,981
営業外収益		
受取利息	3,657	5,779
受取配当金	14,061	14,056
負ののれん償却額	30,406	30,406
受取ロイヤリティー	35,310	30,309
その他	29,748	17,153
営業外収益合計	113,185	97,705
営業外費用		
支払利息	22,228	17,939
為替差損	33,906	6,109
デリバティブ評価損	2,645	7,343
その他	1,469	3,021
営業外費用合計	60,250	34,414
経常利益	332,413	185,271
特別利益		
固定資産売却益	733	238
投資有価証券売却益	2,670	14
その他	644	—
特別利益合計	4,048	252
特別損失		
固定資産除却損	3,488	2,982
投資有価証券売却損	—	769
投資有価証券評価損	489	99,885
退職給付制度終了損	—	50,396
その他	85	—
特別損失合計	4,062	154,033
税金等調整前四半期純利益	332,399	31,491
法人税、住民税及び事業税	105,000	27,718
法人税等調整額	15,868	△13,390
法人税等合計	120,869	14,328
四半期純利益	211,530	17,162

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
四半期純利益	211,530	17,162
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△61,694	△41,455
為替換算調整勘定	△52,857	△15,051
その他の包括利益合計	△114,552	△56,507
四半期包括利益	96,977	△39,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,977	△39,344
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	4,082,745	2,374,903	890,526	7,348,176
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	4,082,745	2,374,903	890,526	7,348,176
セグメント利益(営業利益)	486,349	284,499	117,904	888,753

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	888,753
全社費用(注)	△609,275
四半期連結損益計算書の営業利益	279,478

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,542,628	2,400,406	889,261	6,832,296
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,542,628	2,400,406	889,261	6,832,296
セグメント利益(営業利益)	313,465	269,181	103,359	686,006

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	686,006
全社費用(注)	△564,025
四半期連結損益計算書の営業利益	121,981

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。